

# 1人1台タブレット端末を活用して、 コマ撮りアニメーションを製作する学習

第6学年

形が動く絵が動く(工作)

こんな子どもたちの姿が生まれました!

- 造形的な見方・考え方を働かせて、工作に表す活動を行うことができました。
- 全ての児童が単位時間の中で作品を「つくり・つくりかえ・つくる」ことができました。

## 1人1台のタブレット型コンピュータ(※以後「PC」と表す)の活用による「造形活動」の効果



アニメーションができることで  
「表現活動」への関心・意欲を高める。

- ・ 撮影には、PC内蔵カメラを使用する。固定台を使用すると、児童が撮影や作業をしやすい。
- ・ アニメーション作成アプリやPowerPoint等のプレゼンテーション作成アプリの様式を用いると、児童が製作しやすい。



容易にPC画面で作品が見られることで  
「鑑賞活動」への関心・意欲を高める。

- ・ 題材の導入等で、身近な材料によるアニメーション作品を鑑賞して、製作への関心を高める。
- ・ 小グループでコンピュータ画面を一緒に見たり、互いに見合ったりしながら鑑賞することで、更なる表現への意欲を高める。

### 教師の指導のポイント

- 製作時において、1人1台端末による小グループの鑑賞活動と、大型提示装置による全体での鑑賞活動とを効果的に位置付けることで、児童が造形的な見方・考え方を働かせることができます。

## 学習支援ソフト等による「ポートフォリオ」作成の効果



一人一人が「ポートフォリオ」を作成することで  
「思考力、判断力、表現力等」を効果的に育成できる。

- ・ 単位時間の製作状況を写真や動画で保存し、蓄積することで、児童も教師も前時までと本時の表現を比較して、製作の歩みを見つめることができる。

### 教師の指導のポイント

- 写真や動画による作品のポートフォリオをもとに、色や形などの感じを考えながら、表し方の工夫を見つけることを積み重ねることで、「思考力、判断力、表現力等」を育成することができます。